

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課									
	作成責任者	山中 忠雄									
	事業名	高齢者運転免許返納推進事業									
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 交通対策費	会計 一般会計	事業コード 120179	決算付属資料 82	頁			
	施策体系	施策コード 040303	施策名 交通安全対策を推進する								
	開始年度	平成26年度									
	終了予定年度	令和元年度									
	関連計画等	第10次福知山市交通安全計画									
	根拠法令等	-									
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()									

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	近年、全国的に高齢ドライバーの交通事故の割合が増加傾向にあり、高齢ドライバーによる交通事故の増加にの抑制を図り、市民の安心で安全な生活環境を守る必要があることを受け、自動車の運転に自信がなくなった、または運転する機会が少なくなった高齢者が運転免許証を自主返納しやすい環境を提供することで、運転に不安を抱える高齢者の自動車運転機会の縮小を図り、交通事故の減少につなげることを目的とする。									
	対象者	運転免許返納申請者	対象者数	308	単位あたりコスト	7.4					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	市内在住の75歳以上の高齢者を対象に運転免許証を自主的に返納した人に対し、返納奨励金として敬老乗車券2冊(6,000円)もしくはタクシー券(5,000円)のいずれかを贈呈し、さらに運転経歴証明書の交付手数料1,120円を交付する。									
主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費					
	返納奨励金	運転経歴証明書交付手数料返納金				205					
	報償費	タクシークーポン券交付金				955					
	報償費	敬老乗車券交付金				48					
	郵送料	クーポン券等の簡易書留郵送料				102					
関連事業	交通安全対策事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	564	865	1,294	1,377	1,562
		②補正予算	478	406	0		
		③流充用額			16		
		④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越			0	0	0	0
		次年度繰越		0	0	0	0
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	1,042	1,271	1,310	1,377	1,562
		国支出金	0	0	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0	0
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
	人件費	0.23/0	0.23 / 0	0.12 / 0	0.12 / 0		
⑤概算人件費	1,840	1,840	960	960			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	2,882	3,111	2,270	2,337			
⑦執行額	1,042	1,271	1,309				
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	99.9%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		高齢者の事故件数の減少	人	68/65	74/65	48/65	/ 65	65
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		制度利用者数	人	194/150	230/150	241/185	/ 185	185
		単位あたりコスト		5.4	5.5	5.3		
		運転免許返納申請者数	人	264/200	308/200	285/200	/ 200	200
単位あたりコスト		3.9	4.1	4.6				

	項目	評価	評価に対する説明	
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	近年、本市も含めて全国的にも高齢者の事故は増加しており、必要度の高い事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	他市では、返納者に対して継続的な支援の実施も見られるが、本市では返納時のみのサービスとしているにも関わらず返納者増につながっていることから効率的な事業と判断できる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	事業開始によって確実に返納者が増えたことから、有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	事業実施前の運転免許返納者数はH23が10人、H24が16人、H25が54人であったが、H26から事業を開始し、H29が308人、H30は285人となり、事業の効果は顕著である。また、高齢者の交通事故件数も確実に減少しており、評価の高い事業である。		
今後の課題及び方向性	公共交通が充実していない地域では、運転免許を返納しても代替交通移動手段の確保が困難であり、免許返納が進まないことが懸念される。また、周辺地域に居住する高齢者にとって免許は農作業にも必要不可欠であり、この面でも大きな課題が残る。高齢者が安全に運転できるよう安全教育や講習制度の充実、またサポートカー等の新しい技術の推進等に取り組む必要がある。			

	所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	申請者が増加しているため、報償金を増額する。ただし、運転経歴証明書取得奨励金は廃止する。 【H30棚卸による見直し状況】 免許返納者が運転経歴証明書に期待する身分証明書としての機能は、マイナンバーカードで対応できる。国が普及促進を進めている状況でもあり、令和2年度からは、運転経歴証明書取得奨励金を廃止し、免許返納者にはマイナンバーカードの取得を勧めていく。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 都市・交通課						
	作成責任者	山中 忠雄						
	事業名	交通安全対策事業						
	会計情報	款 総務費	項 総務管理費	目 交通対策費	会計 一般会計	事業コード 560214	決算付属資料 82・84	頁
	施策体系	施策コード 040303	施策名 交通安全対策を推進する					
	開始年度	昭和41年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等	第10次福知山市交通安全計画						
	根拠法令等	-						
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	市民の尊い命を交通事故から守るため、交通安全思想の普及・浸透に努め、交通事故防止の徹底と交通の円滑化を図り適切な交通対策を推進する。					
	対象者	市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等	福知山市交通対策協議会					
	事業概要	京都府の年間交通安全府民運動実施要綱に基づき、市内33団体で組織する福知山市交通対策協議会として年間の交通安全運動を展開し、交通安全に対する意識の高揚、交通事故の防止、交通マナーの向上を図る。 交通安全対策会議を主宰し、策定した第10次福知山市交通安全計画に基づき、施策を具体的に実施する。 通学路安全推進会議を主宰し、関係機関と連携し、通学路の危険箇所の合同点検と安全対策を実施する。 交通安全要望に対する道路管理者、警察等との調整対応及び自治会等への対応を行う。 幼児や高齢者を対象とした、交通指導員による交通安全教室を開催し、交通安全に対する意識の高揚を図る。					
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費	
		賃金	交通指導員賃金			2,284	
需用費		ランドセルカバー購入費等			261		
役務費		郵送料等			188		
旅費、使用料及び賃借料		旅費、複写機使用料			23		
負担金補助及び交付金	福知山市交通対策協議会負担金等			818			
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	1,595	1,515	4,002	3,787	4,088
	②補正予算			0		
	③流充用額	△ 72	14	△ 369		
	④繰越額計	0	0	0	0	0
前年度繰越		0	0	0	0	0
	次年度繰越		0	0	0	0
予算と執行の状況 財源内訳(①④⑥内訳)	一般財源	1,523	1,529	3,633	3,787	4,088
	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0	0
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.56/0	0.56 / 0	0.65 / 0	0.65 / 0		
⑤概算人件費	4,480	4,480	5,200	5,200		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	6,003	6,009	8,833	8,987		
⑦執行額	1,523	1,529	3,573			
執行率 (⑦/⑥)×100	100.0%	100.0%	98.3%	0.0%		

業績指標	指標	単位	H28	H29	H30	R1		最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	交通事故発生件数	件	185/180	203/180	173/180	/	180	180
			/	/	/	/		
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	交通安全街頭啓発活動	回	24/20	24/20	22/20	/	20	20
	単位あたりコスト		63.5	63.7	162.4			
			/	/	/	/		
	単位あたりコスト							

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	交通事故防止は市民の命に直接関わる重要な問題であり、市民の安心・安全のために交通安全対策に積極的に取り組む必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	福知山警察署、福知山交通安全協会等の関係機関・団体と連携し、継続的かつ事故発生等に応じて緊急的・重点的に啓発活動に取り組んでおり、効率性は高い。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	交通事故発生件数は減少傾向であり、自動車の安全機能の向上や救急医療体制の充実と併せて効果がある事業と思われる。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		交通安全を推進していくには、交通対策協議会を中心に警察やボランティア団体との連携による全市的な取組とし、市民の意識改革に努める必要がある。そのため、継続的な取組によって市民の交通安全思想の普及につなげると同時に、市として交通安全に積極的に取り組むという姿勢を示すことによって、交通マナーの向上にもつながっている。交通事故の発生件数は減少傾向にあり一定の成果が上がっていると考える。	
今後の課題及び方向性		継続的な取組による市民の意識改革に基づいた成果達成のため、引き続き市民協働型の運動を展開していくと同時に、関係機関が連携した取組を推進していく。 なお、チャイルドシートの貸出しについては、子育ての総合的支援の観点から、令和元年度より子ども政策室にて実施する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】